

静注用人免疫グロブリン製剤 院内フォーミュラリー

	●右記疾患以外の 適応症の場合	●全身型重症筋無力症 ●抗ドナー抗体陽性腎移植に おける術前脱感作	●視神経炎の急性期 ●好酸球性多発血管炎性肉芽 腫症における神経障害の改善
【第1選択】	<p>・献血グロベニン-I 静注用 (5%製剤)</p>	<p>・献血ヴェノグロブリン IH静注 (10%製剤)</p>	<p>・献血ベニロン-I 静注用 (5%製剤)</p>
【第2選択】	<p>・献血ヴェノグロブリン IH静注 (10%製剤)</p> <p>※献血グロベニン-Iが第1選択と なる適応症において、輸液量 を減らす必要がある場合や、 投与時間の短縮が必要な場合</p>	<p>※適応症の詳細や用量については、 別紙比較表参照</p>	